やまめ

156号

五木村議会だより　2026.7.31発行



竹の川地区宅地かさ上げ工事着工式

（左から木下丈二村長、木村敬熊本県知事、金子恭之国土交通大臣）

- ●第２回定例会　P2~3
- ●“村政を問う”一般質問　P4~7
- ●村人インタビュー　P10

6月 定例会

熊本県から振興交付金5億円

令和８年第２回定例会が６月 24 日から 25 日まで開催された。
報告案件３件、承認案件２件、人事案件６件、工事請負変更契約の締結案件１件、補正予算案件４件の合計 16 件が上程された。
第１日目は諸般の報告、提案理由の説明、議案審議。２日目は４名の議員が一般質問を行いダム問題、新たな振興計画、県道・村道の維持管理、高齢者世帯日常生活支援事業利用促進等について執行部を質した。その後議案審議、討論、採決が行われ、全会一致で承認・可決し閉会とした。

今回上程された議題は報告が**一般会計繰越明許費繰越計算書**、**一般会計事故繰越し繰越計算書**、特別会計繰越明許費繰越計算書についてであった。主な繰り越し事業は一般会計では災害復旧費であり、特別会計の情報通信は光ケーブル移設工事費である。

承認の２件は、地方税法等の一部を改正する法律等の専決処分についてであった。

人事案件は６名の農業委員を選任した。

一般会計補正予算は五木村振興交付金に５億円の積み立てを含む、５億 2,238 万２千円を追加し、総額 55 億 9,115 万５千円となった。主なものは下記のとおりである。また特別会計の補正予算も３件審議した。

工事請負変更契約は五木村義務教育学校体育館空調整備工事において、室外機の安全対策費として 845,148 円を増額した。

○一般会計補正の主なもの

総務費	
新交通体系運行に係る業務委託料	500万円
五木村振興基金積立金	5億円
衛生費	
竹の川公衆トイレ解体工事	60万円
消防費	
防災行政無線仰烏帽子中継局修繕料	1,200万円
教育費	
五木学園第一校舎体育館火災報知器修繕料	50万円
西地区集会室外灯取替修繕料	60万円

○債務負担行為の補正

五木温泉夢唄関連工事費として３億５千万円の債務負担行為を行った。

用語解説
※**繰越明許**：やむを得ない事情で年度内に使えなかった予算を、翌年度に繰り越すこと
※**事故繰越**：定められた明許繰越期間を越えて繰り越しすること
※**債務負担行為**：将来の年度にわたる支払いを伴う契約のため、あらかじめ負担を認めておくこと

― 第２回定例会　議案審議の結果 ―

賛成…○　反対…×　欠席…欠

議案名		田山淳士	黒木一秀	西村久徳	園田久	中村俊也	豊永勝彦	審議結果
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(税条例)	○	○	○	○	○	○	原案承認 全員賛成
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(国保税条例)	○	○	○	○	○	○	原案承認 全員賛成
議案第38号	農業委員会の委員の任命について(松井秀夫)	○	○	○	○	○	○	原案可決 賛成多数
議案第39号	農業委員会の委員の任命について(中村恒雄)	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第40号	農業委員会の委員の任命について(尾方繁之)	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第41号	農業委員会の委員の任命について(豊原淳子)	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第42号	農業委員会の委員の任命について(森下徳光)	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第43号	農業委員会の委員の任命について(松永利至子)	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第44号	工事請負変更契約の締結について(五木村義務教育学校体育館空調整備工事)	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第45号	令和８年度五木村一般会計補正予算(第１号)	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第46号	令和８年度五木村国民健康保険特別会計補正予算(第１号)	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第47号	令和８年度五木村介護保険特別会計補正予算(第１号)	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第48号	令和８年度五木村情報通信事業特別会計補正予算(第１号)	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成



被雷被害のあった仰烏帽子山中継局

村政を問う
一般質問

ダム完成を見据えて視察や観光客の増加に対応する展望台を

木下村長　国としっかり協議し要望していく



田山 淳士 議員

議員　ダム工事が来年度から着工の予定だが、視察や観光客の増加が予想されることを前提に、展望台の設置や新たな宿泊施設の整備が必要になるのではないか。



瀬目公園、ここに展望台を

村長　展望台的なものは私も必要だと思うので、国としっかり協議し要望していく。

議員　村内の宿泊施設の宿泊人数などは把握しているのか。

土肥博司産業振興課長　民宿が3件、民泊が1件、キャンプ場が1か所、宿泊人数は全部で100人未満と思う。

議員　宿泊施設を村営または村で作って民間に委託する方法はどうか。

村長　経営は民間のほうが時代に合うと思う。今後、議会と協議をしながら検討したい。

議員　流水型ダムが完成したら、たまった水が引いた跡地に膨大な泥が蓄積すると予想されるが、その除去作業については国土交通省と話したことはあるのか。

村長　そういった問題を管理する事務所を五木に作っていただき、具体的な対策をするよう国に求めていきたい。

議員　具体的な平場の造成の場所、用途、面積、工期などどうなっているのか、平場は模型を作って村民に示すべきではないか、ダム工事が始まってからでは遅いのではないか。

村長　令和8年度中にスピードを上げてそういう絵を描き上げていきたい。

議員　五木村には平地は宝である、何かやろうと思っても、まとまった土地がないのが現状である。平場は用途が決まってから開くのか、それとも決まっていなくてもとりあえず開くのか。

土肥整二ダム対策課長　現在、国のほうから示された20ヘクタールの候補地については、地質調査などを行っている。平場造成については、流水型ダム完成予定の17年度までは完成するよう、村に早く示して取り組んでもらうようお願いしていきたい。



立野の流水型ダム

村政を問う

一般質問

村の最重要課題である人口減少等に対する今後の考えは

木下村長　新たな五木村振興計画の実施計画４つの柱をベースに取り組んでいく



黒木　一秀　議員

ひかり輝く新たな五木村振興計画の評価について

議員　これまでの取り組みをどのように評価しているのか。

村長　流水型ダムを前提とした村づくりにスタートを切って良かった。

議員　村の最重要課題、喫緊の課題である人口減少対策、移住定住対策をどのように考えているのか。

村長　村の環境を活かした子育て、また仕事の生業等についても村で暮らしたいという方を広げていく。

議員　令和７年の国勢調査で人口が８１０人、10年後には６００人という数字になるが、ひかり輝く新たな五木村には、大変厳しい状況になるという危機感がある。

村長　令和８年度の新たな五木村振興計画の実施計画４つの柱をベースに、その精度を上げながら取り組んでいく。

国政調査による村の人口の推移

年	人口		
	総数(人)	増減(人)	増減率(%)
昭和36年(1960)	6,161		
平成12年(2000)	1,530		
平成17年(2005)	1,358	△172	△11.24
平成22年(2010)	1,205	△153	△11.27
平成27年(2015)	1,055	△150	△12.45
令和　2年(2020)	931	△124	△11.75
令和　7年(2025)	810	△121	△13.00

議員　観光客の総数が平成27年の約17万6，０００人をピークに、昨年は15万6，０００人となっている。新たな観光資源、新たな仕組み作り等は考えられないか。

村長　地域版の観光ＤＭＯのような強力な組織が必要。五家荘と連携して、五木村全体、中央山地全体として伝統文化も活かしながら取り組んでいく。

村の財政計画について

議員　当初予算では一般会計総額が50億７，０００万円。そのうちの約10億８，０００万円が借り入れで賄われる予算になっている。

竹村文秀総務課長　道路や水道等のインフラ整備には、大きな事業費が必要であり、起債に頼らなければならない。村の標準的な収入に対する借金の返済額の比率（実質公債費比率）が上がってくる。

議員　地方債の残高は令和６年度で36億４，３３１万円。一方、基金の残高は令和８年度が14億６，７１０万円となり、財政調整基金は3億４，３７５万円となることが予想されている。今後の借り入れの計画はどのようになっているのか。

総務課長　実質公債費比率が18％を超えると、国とか県の許可が必要になる。今年度は減債基金を取り崩して、繰り上げ償還をしたいと考えている。

※実質公債費比率
過去３年間の平均値で示され、この比率が高くなると財政の弾力性が低下し、他の投資的経費等を節減する必要が出てくる。数字が大きいと財政が苦しく、この数値が一定以上になると新たな地方債の借入れ（起債）に制限がかかる。

飲料水供給施設の管理について

議員　人口減少、高齢化により地区の飲料水供給施設の管理が難しくなってきている。今後、どのように考えていくのか。

黒木光重建設課長　状況に合わせて対応していかなければならないと思っている。

議員　地区の給水施設における飲料水を年に１回でも水質検査をしてもらえないか。

建設課長　地区から不安だということであれば、検査を実施してもいいと思っている。

学校教育環境について

議員　五木学園がスタートしたが、特色のある五木学園をどのように構築していくのか。

西龍三郎教育長　保護者や地域の意見、教育委員会の意見等を参考にしながら、特色ある教育活動を展開し、更なる教育環境の充実につなげたいと思っている。

村政を問う

一般質問

県道における維持管理の現状と今後の対応は

木下村長　しっかり管理をしていただくよう要望する



豊永 勝彦 議員

県道の維持管理

議員　特に県道の3路線（五木湯前・久連子落合・小鶴原女木）は、維持管理が十分でないと思うが令和7年度維持管理実績は。また、落葉・落石で離合困難な区間やそれに伴う区画線の目視不可等の現状をどのように考えているか。村と県の連絡体制の現状は。

黒木光重建設課長　各路線で月3回のパトロールと年間維持日数が12日～17日。維持費は680万円から850万円。補修工事費は、合計で3080万円。大きな落石や風倒木で通行できない場合は迅速に報告・撤去要請をしている。連絡体制の仕組みはないが、住民から役場に連絡があった場合は、県にその旨伝えている。また、住民座談会でも県に要望する機会がある。

議員　区画線が消えたり、落石により埋まってしまい確認できない区間が多くある。この区画線の設置と目視可能な状況になるような維持管理を県に要望する考えはないか。

村長　道路の側溝とか落石があると聞いている。この整備に係る予算の確保と実効性を持った取組をお願いしていく。

※村営住宅と一般村営住宅

議員　村営住宅と一般村営住宅で同じ所得でも家賃格差がある現状をどう捉えるか。

建設課長　村営住宅は一般村営住宅より家賃が高額になる。これは、村営住宅が公営住宅法に基づき、所得額に応じた家賃設定を行うためであり、現状ではやむを得ない。

議員　人口が1000人以下の過疎の村として、小規模自治体向けの特区制度を要望できないか。

村長　山村振興連盟・全国町村会・スモールg7サミット等を通じて小規模自治体の課題を国へ訴える。

五木温泉の現状と今後の改築

議員　五木温泉は令和7年度利用者が2万5381人と年々増加している中、燃料不足により時間短縮されているがその方針を伺いたい。

土肥博司産業振興課長　昼間は薪主体で夜に重油を使う。中東情勢が不透明で当面は現状維持と考えている。

村長　状況を見ながら早く元に返したいと思っている。

議員　新温泉施設のスケジュールと村民への情報提供は。

産業振興課長　令和8年度の国からの交付決定は受けている。また、2ヶ年計画も承認済みである。7月に入札を予定しており8月から着手出来ればと思う。区長会や広報誌等で情報提供を検討したい。

※村営住宅：公営住宅法に基づき、国の補助金を受けて建築した村営住宅
※一般村営住宅：村が補助金などを受けずに単独で建築した村営住宅



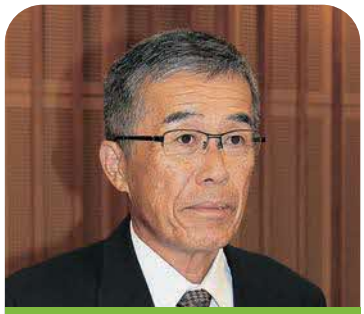
路肩にたまる土砂や落ち葉（五木湯前線）

村政を問う

一般質問

高齢者世帯日常生活支援事業について

村長　困りごと窓口を協議する



園田 久 議員

議員　高齢者世帯日常生活支援事業の令和7年度の対象世帯数と利用世帯数は。半数が利用しない理由をどう分析するか。

村山義治保健福祉課長　対象243世帯、チケット利用率47％。草払い・家事は自分でできる高齢者も多く頼みづらい面がある。

議員　シルバー人材センターが人数制限・高所作業等で対応できない作業は、森林組合・振興公社・建設会社等の村内業者と連携して対応すべき。

保健福祉課長　シルバーは人数制限・安全面で対応できない作業があり繁忙期は待っていただく場合もある。保健福祉課を窓口に関係課・村内事業所と連携し支援体制を検討する。

議員　頭地代替地など庭木のない世帯は真夏の照り返しが厳しい。笑顔給付金と併せてエアコン購入・設置支援を検討できないか。

保健福祉課長　エアコンは2027年問題で価格上昇が見込まれ支援は必要だが、対象範囲・機種・補助額の協議が必要。来月の事業説明会で住民意見・需要を伺い検討する。

議員　高齢者の多様な要望に応じる「困りごと係」的な担当窓口を設け、利用率を笑顔給付金並みに引き上げてほしい。

村長　高齢化率50％超で75歳以上世帯が増加。支援事業・笑顔給付金・五木こもり券を実施。困りごと窓口は福祉課と社協で一本化を協議する。

議員　吐合地区など携帯電話の通話困難地区の解消は。他に困難地区はあるか、検討しているか。

竹村文秀総務課長　宮園一部・平野・野ノ脇地区で入りにくい。ドコモは採算面で応じず、村負担では2基7,000万円（過疎債頼み）で令和8年度予算には計上していない。国庫補助を探して検討したい。

総務課長　必要性は理解する。村道白蔵線が地すべりで電源供給が止まっており、中継局が復旧すれば少しはつながるかもしれない。

議員　下梶原地区は焼畑体験100人規模・県有林1,800ha・観光客等の利用があり緊急時に支障がある。カバー範囲の広い場所に通話エリアを設け、県や業者にも協力を求めて解消してほしい。



高所作業が必要な剪定力所



携帯エリア拡大には中継塔が必要



委員会報告

※川辺川ダム対策再建特別委員会報告

◎「流水型ダムの賛否を問う住民投票条例の制定の要望」について

〇要望の主旨

前回、令和７年８月27日付けで提出した要望書に対する令和７年12月12日付けの「不採択」とした回答理由では「住民を納得させる手続き等の審議が十分に尽くされていない」ので再度の審議をお願いしたい。

〇審査結果（不採択）

令和８年第１回定例会において、川辺川ダム対策再建特別委員会へ付託されていた令和７年12月25日付けで提出の「流水型ダムの賛否を問う住民投票条例の制定の要望書」について、今定例会において委員長から「不採択」との報告があり、本会議において委員長報告のとおり「不採択」と決定しました。

〇審査の経緯

村議会としては「平成８年10月にダム建設に同意した経緯があり、ダムの形状が変更されたとしても議会の意思として今も継続していると判断しているため、改めて村民に川辺川ダム建設の是非を問うことは、平成８年のダム建設同意と相いれないこととなる」として令和７年12月12日付けで「不採択」とした経緯があります。

特別委員会においては「前回の判断に対し、これを見直すべき新たな事情、新たな事実関係又は判断を変更するに足る特段の理由は認められない。」として令和７年12月の決定は妥当であると判断しました。

議会の動き（4月～6月）

4月

1日　教職員辞令交付式（早田議長）
　　定例議員全員協議会（全議員）・広報委員会（全委員）
8日　五木学園開校式・入学式（全議員）
9日　臨時全員協議会（全議員）
15日　人吉高校五木分校入学式（全議員）・林大開校式（早田議長）・第２回広報委員会（全委員）
16日　熊本地震10年犠牲者合同追悼式「熊本市」（早田議長）
　　人吉下球磨消防組合全員協議会「人吉市」（中村議員）
20日　臨時全員協議会（全議員）
　　平瀬地区五木小川砂防完成見学会（全議員）
　　第３回広報委員会（全委員）
22日　例月監査（豊永監査委員）
27日　戦没者追悼式（早田議長）
　　定例球磨郡議長会「人吉市」（早田議長）

5月

7日　定例全員協議会（全議員）
14日　ダム対策再建特別委員会（全委員）
　　球磨郡選出県議会議員との意見交換会「錦町」（全議員）
15日　熊本県町村議会議長会議長研修会「熊本市」（早田議長）
16日　保学高合同運動会（全議員）
18日　下球磨正副議長会（早田議長・田山副議長）
19日　球磨郡監査委員連絡協議会総会「あさぎり町」（豊永監査委員）
20日　例月監査（豊永監査委員）
21日　定例郡議長会「人吉市」（早田議長）
23日～24日　東日本ふるさと会総会「東京都」（早田議長）
26日～27日　全国町村正副議長研修会および国会要望「東京都」（早田議長・田山副議長）
27日　人吉球磨広域行政組合議会臨時会「人吉市」（西村議員・園田議員）
31日　竹ノ川地区嵩上げ工事着工式（全議員）

6月

3日　定例全員協議会（全議員）
　　ダム対策再建特別委員会（全委員）
4日～5日　国県要望活動「東京都・熊本市」（全議員）
14日　郡消防ポンプ操法大会「あさぎり町」（早田議長）
18日　臨時全員協議会（全議員）・議会運営委員会（全委員）
22日　定例郡議長会（早田議長）・例月監査（豊永監査委員）
24日～25日　定例会（全議員）
26日　広報委員会（全委員）・令和８年度国県事業説明会（全議員）

※請願調査特別委員会報告

◎「大通りトンネル建設の請願」について

紹介議員：田山淳士議員
西村久徳議員

〇請願の主旨

五木村は長年にわたってダムに翻弄され続けてきた現状を鑑み、人口減少に歯止めがかかるような有効策も見いだせない中、県道25号線大通り地区の標高の低い場所に新たなトンネルを建設することにより、村の発展を図ることが最重要と考えるので国･県に対して、強く要望していただきたい。

〇審査結果（付帯決議を付して採択）

令和７年第４回定例会で請願調査特別委員会に付託された令和７年11月25日付けで提出の「大通りトンネル建設の請願書」について、令和８年第１回定例会において村議会請願調査特別委員会委員長から「付帯決議を付して採択」との報告があり、本会議において「振興計画でも要望してあり、単独での要望は時期早々ではないか」との反対意見があったものの、委員長報告のとおり「付帯決議を付して採択」としました。これにより執行部に対して「付帯決議を付して採択」した旨を通知しました。

〇審査の経緯

この事業については、令和６年、令和７年に村長と議長の連名で熊本県に要望しており、熊本県も調査を実施中であり、五木村や球磨人吉・八代市五家荘地区の住民福祉の向上だけではなく、県南部振興策の一端を担う大きな事業であり、請願は適当であると認められました。しかし、「本事業は多額の費用を要する公共事業であり、執行部と議会が緊密に連携して国・県等へ働きかけ、同時に八代市や球磨郡、八代郡の多くの自治体の協力が必要不可欠であり、関係自治体と協議を行い広域的な連携のもとで協議会等を早急に設置することが求められる。加えて村内全体の道路整備計画との整合性を図りつつ進めるとともに、村内にある他の県道の改良がなおざりにされることのないよう十分な検討が必要である。」との付帯決議を付しました。

番　号	事　件　の　表　示	田山淳士	黒木一秀	西村久徳	園田　久	中村俊也	豊永勝彦	審議結果
令和7年 請願第2号	大通りトンネル建設の請願	○	○	○	×	○	○	付帯決議を付して採択

※請願･陳情･要望について

〇請願

請願は憲法で認められた国民の権利であり、誰でも村政についての要望や意見を村長や村議会に対して提出することができますが、請願の提出にあたっては紹介議員が必要です。内容についての制限はなく、また、いつでも提出することができます。

受理された請願は関係する委員会で審査したうえで、本会議で採択か不採択かの決定をします。その結果については、請願された方に通知します。

〇陳情・要望

陳情・要望は、要望や意見の提出することにおいては請願と違いはありませんが、請願のような手続き等の法的な定めはなく、紹介議員も不要です。

陳情書・要望書の取り扱いについては議会運営員会に諮り、必要であれば請願の例により処理します。

村人インタビュー



久保田（くぼた）　一生（かずお）さん（宮園）

①自己紹介

上平野地区出身で、高校までずっと五木村で育ってきました。

就職で一時期五木村を離れましたが、10年前に五木村へ戻ってきました。

現在は丸一産業で働いています。休日の趣味はドライブで、県内外の道の駅巡りをしています。

②仕事について

災害で壊れた道路の復旧工事や、道路を走りやすくする改良工事、治山ダム工事や河川の土砂や河川の土砂撤去などたくさんの土木工事を行っています。

③五木の感想

村全体として、道路が整備され交通の便も良くなり、道の駅施設もリニューアルされ、村外の観光客の方が来やすい環境になってきていると感じます。

ただ、子供の頃のような村全体の活気というものが無くなっているように感じます。

④村や議会にのぞむこと

今、私は宮園周辺地域振興協議会に参加させてもらっていて、同地区の振興策を話し合っています。

地域の賑わい作りのイベントや、交流の場を作るなど、振興策を話す中で若者・Uターン・Iターン者の定住促進の振興策の必要性があるのではないかと感じています。全国の共通の課題なのかもしれませんが、五木村にしかない魅力を武器に、住みやすく、活気あふれるふるさとにしていきたいです。

また、近年の気候変動で災害が頻発して発生しており、五木村の中でも危険な箇所が多数見受けられます。予防的な対策の検討をしていただき、安全な五木村にしていただきたいです。

つぶやき

鬱陶（うっとう）しい梅雨がようやく明けたと安心したのも束の間、今度は厳しい暑さが続いていますが、今年の夏は例年より気温が高くなるとの予報も出されています。

ヨーロッパやアメリカなどではエルニーニョ現象の発生や偏西風の蛇行などにより40度を超える気温を観測したとの報道もありました。村民の皆さまには体調管理に十分注意され、エアコンの活用やこまめな水分補給など特に熱中症に気を付けてお過ごしください。

先日まで北米3か国でＦＩＦＡワールドカップが共同開催され、連日熱戦が繰り広げられました。村民の皆さまもテレビから目が離せない緊迫した試合を楽しまれたことと思います。残念ながら日本代表は決勝トーナメント1回戦でブラジルに敗れてしまいましたが、これまでの健闘に拍手を送り、4年後の更なる活躍を期待したいと思います。

黒木　一秀

次回の定例会は
９月上旬の
予定です。
皆様の傍聴をお待ちしております。

五木村議会広報委員会

委員長　黒木　一秀
副委員長　園田　久
委　員　豊永　勝彦

表紙題字：故 尾方　芳郎氏

発　行　五木村議会
発行責任者　議長　早田吉臣
編　集　議会広報委員会
〒868-0201
熊本県球磨郡五木村甲2672-7
TEL（0966）37-2352